

入選 小川 軽舟 選

文机に日の差し込みり黄水仙

静岡県富士市 佐野 明美

子育ての終はりし夫婦クリスマス

東京都練馬区 黒崎 舞句

ほうたるや卓袱台の脚たたむ音

宮崎県延岡市 上山 育美

松風や浜一面に白子干す

東京都大田区 関口 昭男

牛井の箸啞へわる秋暑かな

東京都府中市 藤澤 愍子

山寄りに鳶の旋回苗木植う

長野県千曲市 中村みき子

寄木組む座職の匠小鳥来る

神奈川県小田原市 中山智津子

墓出でて峡の十戸のはや灯る

神奈川県小田原市 芹澤 常子

七五三歩道橋より城を見る

神奈川県小田原市 西村 英子

サルビアやシャッター街の美容院

神奈川県大和市 河村美恵子

レモン熟れ小さき漁港に朝が来る

神奈川県足柄下郡湯河原町 白谷比呂恵

明日越ゆる箱根の山や今日の月

神奈川県茅ヶ崎市 日高 朝代

秋袷帳の富士揚がりけり

東京都練馬区 入倉富美子

産院の待合室や除夜の鐘

神奈川県小田原市 柏木 良花

雨すでに春のにはひや早雲寺

東京都日野市 横沢 哲彦

行く春の父のみじかき旅信かな

東京都板橋区 氣多 驚子

霜晴やゆつくり登る雑木山

福島県郡山市 佐藤 祥子

夕暮は夕暮色のしやぼん玉

東京都大田区 阿部千保子

夕桜引越荷物ほどきたる

大阪府大阪市天王寺区 佐竹 三佳

楽しては稼げぬ金や火取虫

群馬県館林市 西村 棗

点けて一人消して独りの夜長かな

神奈川県小田原市 田淵 令子

ははきぎのみみぢしてつく浮力かな

東京都板橋区 大石香代子

傍らに母が居るやう日向ぼこ

神奈川県小田原市 肥後ちさこ

聖五月ポプラは風を新たにす

長野県長野市 木原 登

翁面取りても翁里神楽

神奈川県茅ヶ崎市 塚本 治彦

水響む峡の朝や座禅草

神奈川県小田原市 瀬戸 りん

木屋や香りに重みあるごとし

神奈川県小田原市 林 梢

靴を縫ふ一畳程の冬灯

千葉県市川市 本田 若菜

家族なる切なきものよ去年今年

東京都練馬区 齊藤 暢人

蟹気楼蹠の砂を波さらひ

茨城県つくば市 筒井 龍尾

入選 奥坂まや 選

入選 岩永佐保 選

草の花死ぬまで未来ありにけり

神奈川県小田原市 米山 翠

城山に朝練の声銀杏散る

神奈川県横浜市戸塚区 斉藤 理枝

山に雪湯気ほのぼのと牛の乳房ちち

東京都羽村市 羽村 良宜

巖に岩突き出す岬鳥渡る

静岡県伊豆の国市 山岸 文明

寄鍋やいつしか父母の声忘る

栃木県宇都宮市 大野 晴真

肩に手を載せるがごとき冬日かな

愛知県名古屋市中昭和区 山内 基成

笛の音の風切るごとく薪能

東京都新宿区 今井美佐子

剝製の閉ぢぬ翼よ虎落笛

東京都杉並区 藤田かをる

十二羽の鶴を操って修羅捌く

神奈川県足柄下郡箱根町 桐谷 綾子

身に沁むや母百歳の農事帳

神奈川県足柄下郡箱根町 桐谷 綾子

指笛に葦毛ましぐら天高し

神奈川県横須賀市 本橋 洋子

甌穴の水渦巻くや谿紅葉

東京都青梅市 西川 素子

歛の柄につと触れゆける胡蝶かな

静岡県富士市 佐野 明美

悩む子よ春の渚に胸ひらけ

長野県千曲市 中村みき子

金糸雀の籠の中まで花吹雪

静岡県田方郡函南町 畠 梅乃

白雲の夜も密なり稲架稜

群馬県前橋市 糸井 芳子

駐輪のロックかちりと新学期

神奈川県小田原市 村場 十五

寒日和せーのと臼を運び出す

東京都東久留米市 小山 博子

相噺に深まる会話桜餅

神奈川県小田原市 小林 環

文字にして留める記憶翹雲

神奈川県横浜市港北区 辻内 京子

九十の母の音読菊日和

神奈川県小田原市 松岡美和子

板渡しつくる食卓若葉風

静岡県伊豆の国市 杉村有紀代

綿虫や夕暮の路地したしかり

神奈川県川崎市宮前区 中島 悦子

冬あたたか旅に弾きたる駅ピアノ

神奈川県横浜市保土ヶ谷区 辻 和香子

赴任地のまだ名を知らぬ山笑ふ

神奈川県横浜市旭区 國吉 洋子

嫁ぐ子と川の字に寝る春の月

神奈川県横浜市旭区 國吉 洋子

書き留めて今日の段取暖房車

大阪府大阪市東淀川区 石原由貴子

朴落葉挟み山小屋日誌かな

神奈川県横浜市神奈川区 大瀧 妙子

音階にこゑひろげゆく春隣

東京都新宿区 草薨 玲

山腹に見下す母校雪ばんば

東京都小金井市 阿部 敬子

入選 池田忠山 選

指笛に葦毛ましぐら天高し

神奈川県横須賀市 本橋 洋子

湘子忌の万年筆の太字かな

東京都小平市 志賀佳世子

秋出水自宅へ電話未だ出ず

静岡県三島市 酔月

梅香る寺の薨の三鱗

神奈川県愛甲郡清川村 瓜田 国彦

ジーンズに擦る林檎や深山晴

神奈川県小田原市 小林 環

新雪を巻き上げ搜索隊のへり

神奈川県横浜市戸塚区 志田 千恵

鳥渡る紺深めたる相模灘

千葉県佐倉市 野手 花子

夕鐘の一打のこだま紅葉散る

神奈川県平塚市 石黒 和風

九十の母の音読菊日和

神奈川県小田原市 松岡美和子

歯車の見える時計や冬に入る

静岡県伊豆の国市 杉村有紀代

天守閣より一望の水の秋

静岡県田方郡函南町 森田 節子

忘れ物この世に母の白日傘

大分県国東市 吾亦紅

緞帳の校章褪せし卒業歌

神奈川県横浜市戸塚区 斉藤 理枝

大虚子の忌なり地ちのもの旬のもの

東京都葛飾区 加藤 静夫

どの子にも深き秋天逆上がり

神奈川県相模原市南区 相良 文雄

兵児帯に寛ぐ湘子花夕べ

神奈川県横浜市旭区 國吉 洋子

空っ風箏に残る父の癖

愛知県名古屋古屋市 山内 基成

臍の緒の小さき桐箱開戦日

埼玉県狭山市 野田 修

うららかや『おさるのかごや』鳴る駅舎

神奈川県小田原市 山本よしえ

きつかけは小田原提灯春の宵

埼玉県川越市 小澤 文雄

さかあがりくるりと冬の空廻す

神奈川県小田原市 若村 京子

滝壺へ水の柱の仁王立ち

神奈川県秦野市 加藤 三眠

マニキュアの指で検温村芝居

山形県山形市 栗原ただし

小便小僧の尿きらきら秋高し

神奈川県相模原市緑区 山田 凍崖

少年の脱皮まぶしき休暇明け

神奈川県川崎市麻生区 荒 理依子

言葉かけくれし菜の花摘みくれし

群馬県前橋市 糸井 芳子

うららかや男と巡る総構へ

神奈川県小田原市 加藤 幾代

図書館にサンダル鳴らし日焼の子

和歌山県和歌山市 西山 純子

小春日を使ひ切つたるけふの旅

千葉県八千代市 大久保文夫

死に際の怒りのやうな冬夕焼

神奈川県足柄上郡松田町 裏野 四猫

入選 長谷川きよ志 選

入選 山田照子 選

竹の子の一直線の生命いのちかな

神奈川県小田原市 中島 規行

東京を鞆に詰めて帰省かな

愛知県名古屋市長和区 山内 基成

肩に手を載せるがごとき冬日かな

愛知県名古屋市長和区 山内 基成

水枯れて青空落つるところなし

埼玉県川越市 大木隆太郎

初蝶の飛ばばそこから空はじまる

宮城県遠田郡涌谷町 鶴岡 行馬

臍の緒の小さき桐箱開戦日

埼玉県狭山市 野田 修

新しき靴は空色いぬふぐり

埼玉県春日部市 坂川 花蓮

缶蹴りの最後の鬼や遠蛙

東京都町田市 三輪 遊

子に言わぬこと三つ四つ花八つ手

東京都文京区 赤澤 敬子

釣果なき父のバケツに夕焼かな

神奈川県小田原市 小野 晶子

渙り火の水平にして涼新た

神奈川県足柄上郡大井町 新井たか志

マネキンはみんな痩せ型夏に入る

埼玉県上尾市 鈴木 良二

湘子忌の万年筆の太字かな

東京都小平市 志賀佳世子

桜舞ふ試し切りする刀鍛冶

神奈川県秦野市 佐藤 和子

小春日の灘へ突き出る岩三つ

神奈川県愛甲郡清川村 瓜田 国彦

納棺に歳時記ひとつ草の露

神奈川県茅ヶ崎市 日高 朝代

投了にかうべ下げ合ふ寒夜かな

愛知県岡崎市 石川 休塵

鳥渡る紺深めたる相模灘

千葉県佐倉市 野手 花子

鷹鳩と化し夫縁に爪を切る

静岡県御殿場市 青山 典仁

身に染むや人体徐徐に壊れゆく

神奈川県小田原市 木村 和彦

留守電の夫のバリトン聞く霜夜

神奈川県小田原市 須田 聡子

歯車の見える時計や冬に入る

静岡県伊豆の国市 杉村有紀代

靴を縫ふ一畳程の冬灯

千葉県市川市 本田 若菜

断固として妥協しさうにない花梨

神奈川県大和市 おおもりじゅん子

立葵誰も帰って来ない村

大分県国東市 吾亦紅

子宝の神のとなりに針祭る

千葉県流山市 篠塚 雅世

セロリ噛み疑心暗鬼にかられをり

東京都葛飾区 百橋 美子

仕立屋に隣る布団屋実南天

東京都葛飾区 百橋 美子

言ひ過ぎし言葉を焼べる焚火かな

東京都立川市 安食 久子

絹蒲団生も死も刻告げらるる

埼玉県新座市 黒澤あき緒